

## 地理空間情報及び文献資料からみるケラマジカの社会環境史

○新里利恵子〔東京農業大学短期大学部〕 △下嶋 聖〔東京農業大学短期大学部〕  
 関岡東生〔東京農業大学地域環境科学部〕 山崎晃司〔東京農業大学地域環境科学部〕  
 鈴木伸一〔東京農業大学短期大学部〕

キーワード：慶良間諸島 ケラマジカ 文献調査 地理空間情報 空中写真 GIS

ケラマジカは、17世紀当時、歴代の中国王朝と君臣関係にあった琉球王朝が、中国王朝より使節される冊封使を接待する宴席料理に供するため、薩摩より移入したとされている。近世より琉球王朝から始まり、沖縄県、アメリカ政府統治、琉球政府、沖縄の復帰後、再び沖縄県と統治が変わる中、島嶼環境に隔離されたケラマジカは、約400年の間、本土のニホンジカと比べて、生態的、形態的にも特異な個体群となった。島嶼環境という特殊な環境圧が個体数および個体群にかかる一方、狭隘な島内において地元住民との衝突、農作物被害などが生じている。

そこで本研究では、沖縄県慶良間諸島に生息するケラマジカを対象とし、文献調査および各種地理空間データを収集し、自然環境及び社会環境の両側面からヒトとケラマジカとの関係性について、時系列的に明らかにすることを目的とする。

## 高度経済成長期後半の全国レクリエーション大会

ー東京オリンピック開催から高度経済成長期の終わりまでー

○加藤秀治〔日本大学〕、加藤幸真〔日本大学大学院〕、澤村博〔日本大学〕

キーワード：東京オリンピック、全国レクリエーション大会、高度経済成長

高度経済成長期とは日本経済が年平均10%を超える実質経済成長率を示し、飛躍的に発展した時期である。その期間は1954年の神武景気から1973年の石油危機までである。

一般的に高度経済成長期は1954年から1964年までが第一次高度経済成長、1965年から1973年までが第二次高度経済成長と区分される。

本研究では第二次経済成長にあたる1965年から1973年の全国レクリエーション大会を対象とする。

第一次高度経済成長を対象とした2013年の本学会での発表においては、大会のテーマが労働者に関連したテーマが設定されるようになったことや、1953年以前の大会に比べて郷土芸能など日本独自の文化を大きく取り上げるようになっていったことを報告した。

本研究の目的は東京オリンピックが終わり、その後第二次高度経済成長を迎えた中で全国レクリエーション大会の取り組みがどのように変化したのかを明らかにすることである。